

7月の農薬

No. 4 - 1

令和7年7月1日

安全安心な農作物を生産していくために、農薬の使用方法を守るとともにこれまで以上に飛散防止に努めましょう。

水 稲

葉いもち：夜温が高く曇天・降雨が続く場合は注意が必要です。

早期発見に努め、発生の初期に防除しましょう。

穂いもち：出穂前後の防除が重要です。

斑点米カメムシ類：県の予察情報を参考に防除してください。

(倒伏軽減剤)

時期	農 薬 名	規 格	譲渡書	主な使用目的	使用方法、使用薬量
7月上旬～下旬	スマレクト粒剤	3kg	－	倒 伏 軽 減	10a当り2～3kg。 出穂7～20日前に湛水して均一に散布する。 重複散布や多量散布は絶対にしない。
	ロミカ粒剤	3kg	－	倒 伏 軽 減	10a当り2～3kg。 出穂25～10日前に湛水して均一に散布する。 重複散布や多量散布は絶対にしない。
	ビビフルフロアブル	100ml	－	倒 伏 軽 減	10a当り薬量100ml・水量150ℓ、出穂10～2日前均一に茎葉散布する。
	ビビフル粉剤DL	3kg	－	倒 伏 軽 減	10a当り3～4kg。 出穂10～5日前に茎葉部均一にかかるように散布する。 降雨直後・降雨が予想される場合は散布を控える。

時期	農 薬 名	規 格	譲渡書	主な対象病害虫	使用方法、使用薬量
7月上旬	トレボン乳剤	500ml	－	(イ ナ ゴ 類)	2,000倍を散布する。なお、薬剤は畦畔等も含めて散布する。また、散布前に畦畔の草刈りを実施すると効果が高まる。
7月上旬～7月下旬	※ダブルカット粉剤3DL	3kg	－	葉 い も ち 6 月 中 旬 7 月 下 旬	10a当り 粉剤3kg フロアブル120ℓ/10aを散布する。 ノンプラスおよびブラシンは発病後も効果が大きく8月上旬頃まで使用できる。
	ビーム粉剤DL		－		
	ノンプラス粉剤DL		－		
	ブラシン粉剤DL		－		
	ブラシンフロアブル	500ml	－	穂 い も ち (第1回) 7 月 下 旬 8 月 上 旬	
	ノンプラスフロアブル		－		
	ラブサイドフロアブル		－		
	※ダブルカットフロアブル		－		
	トライフロアブル		－		
	ビームゾル		○		10a当り 1,000倍(100ml/100ℓ)
	ゴウケツ粒剤	3kg	－	穂 い も ち	出穂5日前まで。10a当り3～4kg。
	コラトップ粒剤5		－		出穂5～30日前。10a当り3～4kg。
	コラトップ豆つぶ	250g	－		出穂5～30日前。10a当り250g。
7月中	モンカット粒剤 リンバー粒剤 モンガリット粒剤	3kg	－	紋 枯 病	出穂20日前に10a当り4kg湛水して散布する。使用時期を遅れないようにする。
	モンカットファイン粉剤20DL	3kg	－		10a当り4kg散布する。
7月下旬	モンセレン粉剤DL		－		
	バリダシン粉剤DL		－		
	モンカットフロアブル	500ml	－		1,000倍(100ml/100ℓ)を10a当り120ℓ散布する。
	バリダシン液剤5		－		1,500倍(67ml/100ℓ)を10a当り120ℓ散布する。
7月下旬	モンセレンフロアブル		－		

※稲こうじ病は、出穂の10～14日前を目安にモンガリット、ブラシン等を散布する。

※カスミンおよびダブルカット単剤、混合剤については、使用時期が「穂揃期まで」となっておりますので、穂揃期以降に使用させないよう、注意して使用をお願いいたします。

時期	農 薬 名	規 格	譲渡書	主な対象病害虫	使用方法、使用薬量
7月下旬	ゴウケツモンスター粒剤	3kg	－	い も ち 病 紋 枯 病 カ メ ム シ 類	出穂14～10日前に3～4kg/10aを散布する。
	スミチオン乳剤	500ml	－	イ ネ ア オ ム シ (フタオビコヤガ)	薬先がカスリ状になった被害初期に2,000倍液を120ℓ/10a散布する。
	トレボン乳剤 トレボンEW				1,000倍液を120ℓ/10a散布する。
	スミチオン粉剤3DL	3kg	－	ウ ン カ 類 カ メ ム シ 類 (ニカメイチュウ) (イネアオムシ)	1,000倍液を120ℓ/10a散布する。 イナゴ類の適用あり。
	トレボン粉剤DL				10a当り3～4kg散布する。
	スタークル豆つぶ	250g	－	ウ ン カ 類 カ メ ム シ 類 (ツマグロヨコバイ)	250g/10a 省力化剤 水深を3～5cm程度に保ち出穂期を目安に処理する。
7月下旬	クラブ粒剤	3kg	－		出穂期～出穂10日前を目安に10a当り3kgを散布する。

水稻除草剤

○成長したホタルイの残草にはバサグラン液剤をご使用ください。

(粒剤では、効果が劣る場合があります。)

○バサグランは好天が続く日の前に散布するとより効果的です。

時期	農 薬 名	規 格	譲渡書	主な対象雑草	使用方法、使用薬量
7月上旬	バサグラン粒剤 バサグラン液剤	3kg 500ml	－	ミ ズ ガ ヤ ツ リ ホ タ ル イ ウ リ カ ヘ ラ オ モ ダ ク ロ グ ワ イ 広 葉 雑 草	前日落水して散布し、散布後3～4日間は入水しない。 バサグラン粒剤 3～4kg/10a バサグラン液剤は500～700mlを水70～100ℓ/10aに溶かし散布する。 高温時はバサグラン液剤で薬先に薬害が出やすいので注意する。
	トドメMF乳剤	200ml	－	ノビエ(7葉期未満)	100ℓ/10aの水に200mlの薬液を溶かして散布する。濡れ性を高めた製剤処方のため、展着剤が不要。
	トドメMF1キロ粒剤	1kg	－	ノビエ(5葉期未満)	2週間程度ヒエの発生を抑制する効果もある。
	クリンチャーEW	100ml	－	ノビエ(6.0葉期未満)	茎葉処理剤なので、浅水にし、散布する。100ml/10aの薬量を100ℓ/10aの水量に希釈する。
	クリンチャー1キロ粒剤	1kg	－	ノビエ(4.0葉期未満)	1kg/10aノビエ4葉期まで 1.5kg/10aノビエ5葉期まで
	ヒエクリーン豆つぶ	250g	－	ノビエ(4.0葉期未満)	250g/10a省力処理剤ノビエ4葉期7月5日頃までを目処に使用する。
	クリンチャーバスME液剤	500ml	－	ノビエ(5.0葉期未満) トドメバスMFのみ 6 葉 期 未 満 水 田 一 年 生 雑 草 マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミズガヤツリ オ モ ダ カ	100ℓ/10aの水に1,000mlの薬液を溶かし散布する。落水して散布し、散布後3～4日間は入水しない。
	トドメバスMF液剤	500ml	－		100ℓ/10aの水に100mlの薬液を溶かし散布する。落水して散布し、散布後2～3日間は入水しない。
	ワイドアタックSC	100ml	－		100ℓ/10aの水に500mlの薬液を溶かして散布する。湛水落水どちらでも散布可。 ※出穂始期15日前まで
	アレイルSC	500ml	－		100ℓ/10aの水に200mlの薬液を溶かして散布する。湛水落水どちらでも散布可。
	ロイヤント乳剤	200ml	－		
	ワイドパワー粒剤	3kg	－		砂壤土の水田では使用しない。 ごく浅水で止め水をしてから散布し2～3日間は入水しない。その後入水して通常の湛水状態を保つ。 ※ワイドパワー粒剤は「ワイドアタック」と「バサグラン」の混合剤になるので広葉雑草への効果◎
	ヒエクリーンバサグラン粒剤	3kg	－		

- ・本資料は防除の一例です。気象条件や作物の生育状況をふまえ、県関係機関にご相談のうえ、現場に沿った適正な防除指導をお願いいたします。
- ・農薬は登録内容が変更になる場合がございます。使用前に再度登録内容をご確認のうえ、ご使用いただきますようお願いいたします。



もっと近くに。

全農山形県本部 資材エネルギー部

023-687-8700

023-634-8182

農薬はJAマークの製品を！

先入れ先出しの励行を！

7月の農薬

No. 4 - 2

令和7年7月1日

園地の生育状況に合わせた適期防除をお願いします。

散布時期	農 業 名	規 格	譲渡書	主な対象病害虫	倍・量 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散 布 量	備 考
7月上旬	サイアノックス水和剤 加用機殺菌剤	500 g 1kg	－	シンクイムシ類 ハマキムシ類 (キンモンホソガ) (ギンモンハモグリガ)	1,000倍 100 g	700 ℓ 700 g	
				斑点落葉病 黒褐すす輪紋点斑	有機殺菌剤の項参照下さい。		
※有機殺菌剤	オキシラン水和剤	500 g 1kg 1.67kg	－	黒すす星点斑	600倍 167 g	700 ℓ 1,166 g	有機銅キャブタン剤
	オキシンドー水和剤80	500 g	－	黒すす輪紋点落葉病	1,200倍 83 g	700 ℓ 583 g	有機銅剤
(注)・この時期キンモンホソガの発生が多い場合は有機リン剤に代えてノーモルト乳剤4,000倍または、モスピラン顆粒水溶剤2,000倍を加用する。(ボルドー液との混用可) 蚕毒注意。 ・農薬の混用については、混用事例参照すること。							
7月中旬	有機殺菌剤			斑点落葉病 褐すす輪紋点斑	※有機殺菌剤の項参照ください		
	バリアード顆粒水和剤	250 g	○		2,000倍 50 g	700 ℓ 350 g	いずれかを散布。 ボルドー液とは混用・接近散布はしない。
	スタークル顆粒水溶剤	250 g	－	シンクイムシ類 (モモキンホソガ) (カメムシ)	2,000倍 50 g	700 ℓ 350 g	
7月下旬	サムコルフロアブル10	200ml	－		5,000倍 20ml	700 ℓ 140ml	
	エクシレル S E	200ml	－		5,000倍 20ml	700 ℓ 140ml	
	ナリア W D G	250 g	－	斑点落葉病 褐すす輪紋点斑	2,000倍 50 g	700 ℓ 350 g	いずれか
	マイトコーネフロアブル	500ml	－		1,000倍 100ml	700 ℓ 700ml	いずれか
	コロマイト水和剤	500 g	－	ハダニ類	2,000倍 50 g	700 ℓ 350 g	

おうとう

○ハダニの発生が多くなる前に、早めに防除しましょう。
○収穫後の散布は収穫終了次第早急に実施しましょう。

散布時期	農 業 名	規 格	譲渡書	主な対象病害虫	倍・量 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散 布 量	備 考
7月上旬	アーデントフロアブル	250ml	－	ショウジョウバエ類	2,000倍 50ml	450 ℓ 225ml	単用で散布する。
7月(収穫直後) 中下旬	オキシラン水和剤	500 g	－	せん孔病	600倍 167ml	700 ℓ 1,166ml	混ダ用ニ可剤と いずれか
	トレノックスフロアブル	1 L	－	褐色せん孔病	500倍 200ml	700 ℓ 1,400ml	
	マイトコーネフロアブル コロマイト乳剤	500ml 500ml	－ －	ハダニ類	1,000倍 100ml	700 ℓ 700ml	いずれか単用散布
7月下旬	I C ボルドー 66 D	5kg	－	せん孔病	40倍 2.5kg	700 ℓ 17.5kg	

西洋なし

○輪紋病、胴枯病の重点防除時期なので、降雨前後の防除指導をお願いします。
○胴枯病の見られる園地では、小黒点病斑の削り取りと塗布剤処理を行ってください。
○7月下旬以降、ハダニの発生が見られたら、コロマイト水和剤を単剤で散布してください。

散布時期	農 業 名	規 格	譲渡書	主な対象病害虫	倍・量 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散 布 量	備 考		
7月上旬	有機殺菌剤 オキシラン水和剤	500 g 1.67kg	－	輪 紋 病	600倍 167 g	450 ℓ 750 g	いずれか	クレフノン加用	混用散布
	オキシンドー水和剤80	500 g	－		1,200倍 83 g	450 ℓ 375 g			
	サイアノックス水和剤	500 g	－	シンクイムシ類 ハマキムシ	1,000倍 100 g	450 ℓ 450 g			
7月中旬	バレード15フロアブル	250ml	－	輪 紋 病	2,000倍 50ml	450 ℓ 225ml			
	モスピラン顆粒水溶剤	250 g	○	アブラムシ類 ハマキムシ類	2,000倍 50 g	450 ℓ 225 g	いずれか		
	スタークル顆粒水溶剤	250 g	－	シンクイムシ類 (カメムシ)	2,000倍 50 g	450 ℓ 225 g			
7月下旬	マイトコーネフロアブル	500ml	－	ハ ダ ニ 類	1,000倍 100ml	400 ℓ 400ml	いずれか		
	コロマイト水和剤	500 g	－		2,000倍 50 g	400 ℓ 200 g			
	有機殺菌剤			輪 紋 病	※有機殺菌剤の項参照ください				
	エクシレル S E	200ml 500ml	－	ハマキムシ類 シンクイムシ類 ヒメボクト	5,000倍 20ml	450 ℓ 90ml			

ぶどう

収穫期近くになったら果実の汚染、果粉溶脱に注意して防除してください。

散布時期	農 業 名	規 格	譲渡書	主な対象病害虫	倍・量 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散 布 量	備 考
7月上旬 デラウエア	オンリーワンフロアブル	250ml	－	晩(さべ褐腐びと斑病)病病	2,000倍 50ml	250 ℓ 125ml	いずれか べと病の多発する園では7月上・中・下旬散布(クレフノン加用)
	コサイド3000 加用クレフノン	500 g 10kg 12kg	－		2,000倍 50 g	250 ℓ 125 g	
					100倍 1 kg	250 ℓ 2.5kg	
7月中旬	※ストロビードライフフロアブル	250 g 500 g	－	べ晩褐と腐斑病病病	2,000倍 50 g	250 ℓ 125 g	発生が多い場合単用散布する。
	コロマイト水和剤	100 g 500 g	－	ハダニ類	2,000倍 50 g	250 ℓ 125 g	
7月上旬 大粒種	※ストロビードライフフロアブル	250 g 500 g	－	褐斑病・べと病 晩腐病・(さび病)	2,000倍 50 g	250 ℓ 125 g	
	ダントツ水溶剤	250 g	－	アザミウマ類 フタテンヒメヨコバイ	2,000倍 50 g	250 ℓ 125 g	
7月中旬	バレード15フロアブル	250ml	－	褐斑とう病病病 黒さ灰色かび	2,000倍 50ml	250 ℓ 125ml	発生が多い場合単用散布する。
	コロマイト水和剤	100 g 500 g	－	ハダニ類	2,000倍 50 g	250 ℓ 125 g	
	アーデントフロアブル	250ml	－	アザミウマ類	2,000倍 50ml	250 ℓ 250ml	
7月下旬	ランマンフロアブル	100ml 500ml	－	べと病	2,000倍 50ml	250 ℓ 125ml	袋かけ直後いずれかを散布
	ライメイフロアブル	100ml 500ml	－		4,000倍 25ml	250ml 63ml	
	I C ボルドー 48 Q	5kg	－		50倍 2kg	250 ℓ 5kg	

※ストロビードライフフロアブルは単用散布する。

もも

○乾燥した日が続いているので、ハダニ類や害虫の発生に留意してください。
○高温多湿が続いたら灰星病の防除を実施してください。

散布時期	農 業 名	規 格	譲渡書	主な対象病害虫	倍・量 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散 布 量	備 考	
7月上旬	ダイアジノン水和剤34	500 g	○	シンクイムシ類 (モモハモグリガ類)	1,000倍 100 g	400 ℓ 400 g		
	トレノックスフロアブル	1 L 2 L	－	黒 星 病 灰 星 病	500倍 200ml	400 ℓ 800ml		
	展 着 剤		－					
7月中下旬	灰星病重点防除	展 着 剤		－			加用散布 いずれか	
		ベルクートフロアブル	500 g	－	灰 星 病 ホ モ ブ シ ス 腐 敗 病	1,000倍 100 g		400 ℓ 400 g
		オンリーワンフロアブル	250ml	－		2,000倍 50ml		400 ℓ 200ml
		エ ク シ レ ル S E	200ml 500ml	－	シンクイムシ類 モモハモグリガ	5,000倍 20ml		400 ℓ 80ml
		※※殺ダニ剤加用			ハ ダ ニ	殺ダニの項参照。		
7月下旬		スカウトフロアブル	500ml	○	モシン(カ)モハクモイムグリガ類	2,000倍 50ml	400 ℓ 200ml	加用散布
		バレード15フロアブル	250ml	－	灰 星 病 黒 星 病	2,000倍 50ml	400 ℓ 200ml	
薬 剤 名	※※7月のもも殺ダニ剤 詳細は果樹殺ダニ剤適用表参照。							
	薬 剤 名	規 格	譲渡書	リ ン ゴ ニ	ナ ハ ダ ミ ニ			
	コ ロ マ イ ト 乳 剤	500ml	－	◎	◎	1,000倍 100ml	700 ℓ 700ml	
	マイトコーネフロアブル	500ml	－	○～△	◎	1,000倍 100ml	700 ℓ 700ml	

かき

7月中のボルドー液の散布は黄変落葉を助長するので、樹勢の弱い園地や曇雨天の続く場合は使用しない。

散布時期	農 業 名	規 格	譲渡書	主な対象病害虫	倍・量 水100ℓ 当り薬量	10a当り 散 布 量	備 考
7月中下旬	ベルクート水和剤	500 g	－	落炭葉そこ病病病 うどす点	1,000倍 100 g	500 ℓ 500 g	いずれか
	オキシンドー水和剤80	500 g	－				
	ダントツ水溶剤	125 g 250 g	－	アザミウマ類 (コナカイガラムシ) (カメムシ類)	4,000倍 25 g	500 ℓ 125 g	
	展着剤		－				